

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
B-141	22-414	京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座 鶴身孝介 独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター 松下幸生
<b>題名（原題／訳）</b>		
Lack of amygdala habituation to negative emotional faces in alcohol use disorder and the relation to adverse childhood experiences アルコール使用障害におけるネガティブ情動表情に対する扁桃体馴化の欠如と小児期逆境体験との関係		
<b>執筆者</b>		
Sarah Gerhardt, Oksana Berhe, Carolin Moessnang, Maibritt Horning, Falk Kiefer, Heike Tost, Sabine Vollstädt-Klein		
<b>掲載誌</b>		
Addict Biol . 2023 Jan;28(1):e13251. doi: 10.1111/adb.13251.		
<b>キーワード</b>		<b>PMID</b>
アルコール使用障害、小児期虐待、情動処理、機能的MRI、感作		36577733
<b>要旨</b>		
<b>目的：</b> アルコール使用障害 (AUD) において、ネガティブな刺激に対する大脳辺縁系回路の反応異常は、情動処理と調節の変化に関連している可能性がある。本研究では、AUD において初めて、情動処理に関する強固で信頼性の高い神経画像マーカーである、嫌悪刺激への反復暴露に対する扁桃体馴化異常の仮説を検証した。情動調節障害の共通危険因子である小児期逆境体験 (ACE) に対する馴化障害と AUD との関連を検討した。		
<b>方法：</b> AUD 患者 (N = 36) と健常対照者 (HC; N = 26) は、症例対照機能的磁気共鳴画像法 (fMRI) 観察研究に参加した。確立された馴化指標を用いて、扁桃体の嫌悪的情動表情の処理を検討した。		
<b>結果：</b> AUD 患者は、扁桃体馴化が全般的に障害されていた。扁桃体馴化は、HC では ACE 曝露の増加と有意に関連していたが、AUD 患者ではこの関連は観察されなかった。さらに、アルコール摂取量の多さと扁桃体馴化の低下との間には有意な関連がみられた。		
<b>結論：</b> ネガティブな情動内容に対する扁桃体の馴化障害を指標とする、AUD 患者における情動処理神経活動変化を示す新たな証拠を発見した。また、ACE と扁桃体馴化との関連に関する先行報告を再現した。扁桃体馴化は、精神障害と感情調節障害の環境的危険因子として確立されている。さらに、被験者全体におけるアルコール摂取量と扁桃体馴化障害の関連は、飲酒による短期的な効果を示している可能性がある。		